

4月号掲載内容

- P-1: 躍進するダイフレックスグループ
- P-2: 首都高代橋 JCT NHKで放映
- P-3: 上下水道特集
- P-4: JR各地で採用広がる
- P-5: RT工法(羽田北トンネル)
- P-6: 広がる用途
- P-7: 企業紹介
- P-8: 試験施工・説明会報告



2007年
4月号
(第14号)

「株式会社ダイフレックスCS」のレジテクト事業部門は超速硬化ポリウレタン・ウレタを主商品として、レジテクト工法の商標で、コンクリート構造物の保護・防水分野への工法販売を進めてきたが、このたびレジテクト事業部として、グループ中核の事業部門となりさらなる発展を期待されることになりました。

そして、駐車場事業部門は新社名「株DCS」として駐車場事業に特化する体制となりました。

ダイフレックスは昨年9月に民事再生法を申請した恒和化学工業から今年2月に外壁材事業分野の譲渡を受け新生「恒和化学工業(株)」としてグループに受け入れられました。これは従来のダイフレックスグループが得意とするウレタン・ウレタを主体とした有機建設材料に、恒和化学が長年培ってきた構造物を対象とした無機系建設材料、それぞれの知識・経験・ノウハウを融合することにより、優れた「コンストラクション・ケミカル」の提供が加速されると判断したからです。

躍進するダイフレックスグループ
新組織に再編

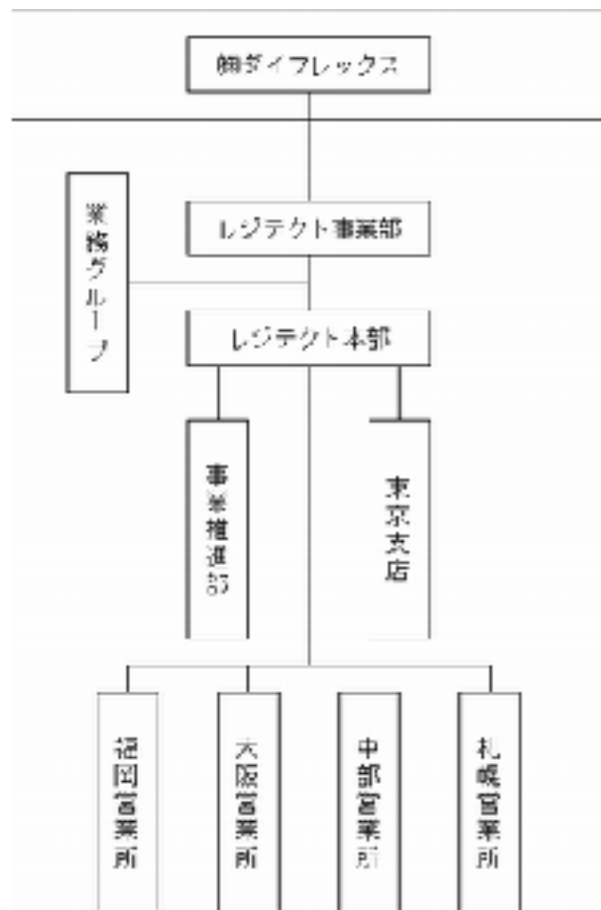
ダイフレックスグループは新たな事業コンセプト「コンストラクション・ケミカル(建設化学)」のリーディングカンパニーを目指し、グループ各社の組織を再編成し、新生「株式会社ダイフレックス」を中核企業として本年4月1日よりスタートしました。

この体制は建設物に係る有機・無機の化学製品を総合的に取り扱い、構造物の長寿命化を実現し、環境・安全面にも配慮した体制となり、一層の社会貢献が可能となります。

恒和化学工業から外壁材事業部門を譲り受けグループ会社として

レジテクト事業部門をグループ中核に

レジテクト新組織図



コンストラクション・ケミカル

コンストラクション・ケミカルとは、建設分野で使われる化学製品の総称です。

ダイフレックスグループはウレタン防水材のトップメーカーとして建設分野において大きな実績を重ね、建設技術の革新に貢献してまいりました。このたびグループに新たな事業を加え、創造的な技術を生み出すリーディングカンパニーとして、新しい事業領域への挑戦を開始します。

これからも、構造物の価値向上を図り、社会の環境と安全に貢献し、コンプライアンスの遵守をモットーに、グローバルに展開してまいります。

明日につながる試験施工・説明会

JR東日本旅客鉄道(株)高架橋補修工事

JR東日本研究開発センター並びに東京支社東京土木技術センターは、「耐久性の高い表面被覆工法の開発」を技術検討しています。鉄道高架橋下のスペースは店舗、駐車場、道路等に使用され補修工事に対して長時間の規制が取れず、工期が短く耐久性に優れた表面被覆工法の確立が大きな課題になっています。レジテクト本部では、このニーズに最適な工法としてレジテクト工法(JRW)仕様を確立し、テスト施工に供しました。これはレジテクト100(R1)のヤング率を向上させ薄膜仕様を可能にした新製品レジテクト2000を主体にしたものです。

今回は7社の工法が参加しました。工法選定は、日本塗料検査協会の性能照査合格とテスト施工の実施及び施工後2年間の追跡調査から判断されます。各社12月より順次試験施工を実施、レジテクト本部は東邦ビルト(株)と協力し12月末の曇天の中、1日で約100㎡の施工面積を滞りなく完工しました。今回の試験施工では1日で完工できた工法は、レジテクト工法のみで圧倒的な施工スピードを施主に印象づける事ができました。また、高所作業車による吹付け工法に対する飛散測定も行ないました。施主の現場立会い及び飛散測定結果より、養生技術で飛散が抑えられることを認識していただきました。そして、東邦ビルト(株)の施工・管理体制は好評でした。

第1回目の追跡調査(外観目視及び付着試験)を2月に実施しました。レジテクト工法は他社の無機工法と比較し非常に高い付着強度を示し、6箇所全ての測定値が2.0 N/m㎡以上の結果でした。

今後は、この追跡調査が中心となりますが、本部ではJR東日本と様々な取り組みを開始しています。詳細は、今後の研修会等でお伝えいたしますのでご期待ください。

東京支店課長 SVリーダー 小倉克之



レジテクトPW-F(プライマー)施工



吹付け状況を注目するJR関係者



仕上がりはスッキリ周囲と調和します

コンクリート・鋼構造物の維持保全技術説明会を実施

レジテクト事業推進部では、四日市市経営企画課のご協力の下、ファルヒウォータージェット(超高压洗浄)工法研究会及びSQS工法協会共催の「コンクリート・鋼構造物の維持保全技術説明会」を四日市市浜園旅客ターミナルで行いました。

説明会の目的は、コンクリート・鋼構造物の維持保全に必要な劣化表面の除去洗浄とその後の保護工法の研修です。説明会は、両社が実機によるデモを行いながら技術説明を行いました。弊社はSQS工法協会を代表して、超速硬化ポリウレタン樹脂(CVスプレー)がコンクリート・鋼構造物の延命化の材料として優れた適正を有している事を説明しました。

デモは、鋼矢板及びL型コンクリートアングルに吹付け実演を行いました。超速硬化ポリウレタンの瞬時に硬化する特徴、水密性の高さ、亀裂追従性の優秀性を実際に確認していただきました。

事業推進部SV 本谷拓朗

施工地域: 東京都足立区
工期: 2006年12月
工法: レジテクトRT-1(JRW)工法
施工会社: 東邦ビルト株式会社



日程: 2007年3月16日
場所: 四日市市浜園旅客ターミナル
協力: 四日市市
参加団体: ファルヒウォータージェット工法研究会
SQS工法協会



発行所: レジテクトBN本部

担当: 小倉・近藤・磯部

〒160-0023
東京都新宿区西新宿3-6-4 東照ビル3F
(株式会社ダイフレックス レジテクト本部内)
Tel. 03-5381-0666 Fax. 03-5381-0670
resitect_honbu@dyflex.co.jp
http://www.resitect.net/index.html